

トマト（夏秋被覆栽培）の病害虫の発生状況（7月中下旬）

1 灰色かび病

巡回調査における発生ほ場割合は、平年よりやや低い状況でした（図1）。高湿度条件下で発生しやすくなるため、換気を十分に行ってください。果実に発生した場合、商品価値を大きく低下させるため注意が必要です。

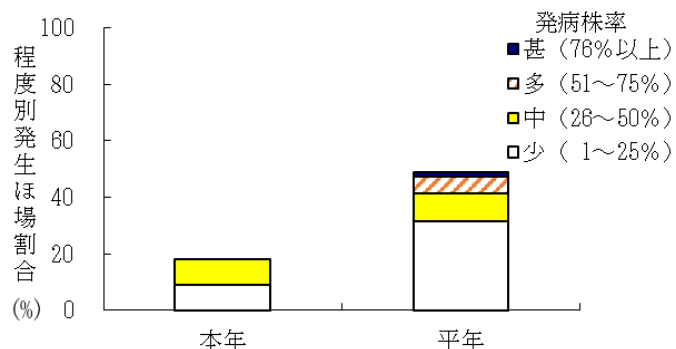


図1 灰色かび病の発生状況

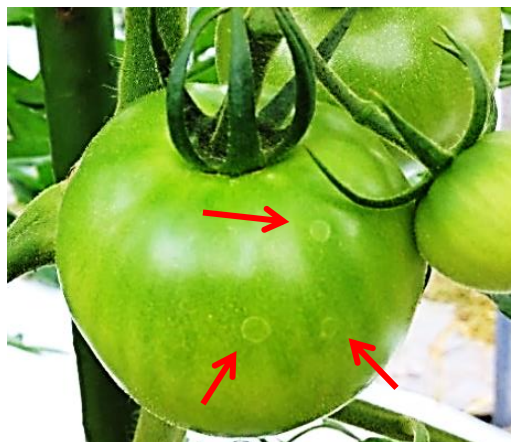


写真1 トマト果実に発生したゴーストスポット

2 葉かび病

巡回調査における発生ほ場割合は、平年並でした（図2）。高湿度条件下で発生しやすくなるため注意してください。葉かび病抵抗性品種もありますが、これらの品種を侵す菌のレースが存在しますので、抵抗性品種を作付けしているほ場でも発病がみられた場合には、適切な薬剤を選択して防除してください。

すすかび病と病徴が似ているので、葉かび病かすすかび病かを確認した上、適切な薬剤を選択して防除してください。

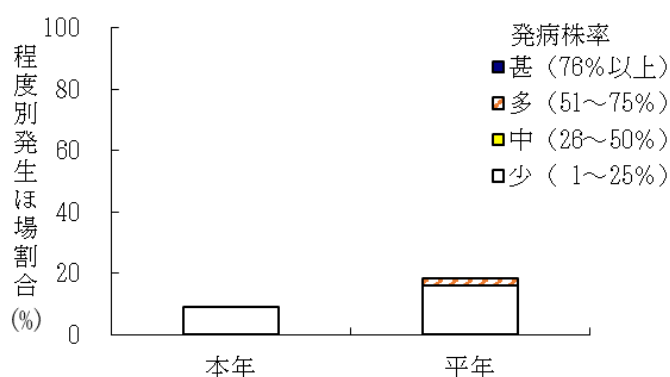


図2 葉かび病の発生状況

3 すすかび病

巡回調査における発生ほ場割合は、平年並でした（図3）。多湿条件になると発生しやすくなるため、換気を十分に行ってください。葉かび病よりも高温期に発生が見られます。発病が見られた場合には、適切な薬剤を選択して防除してください。

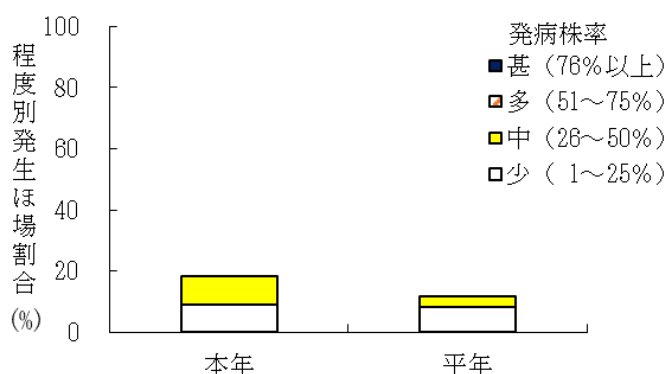


図3 すすかび病の発生状況

4 アブラムシ類

巡回調査における発生ほ場割合は、平年並でした（図4）。ほ場をよく観察し、発生が多くなった場合には、速やかに防除を実施してください。また、アブラムシ類は、CMVなどのウイルス病を媒介するので注意が必要です。

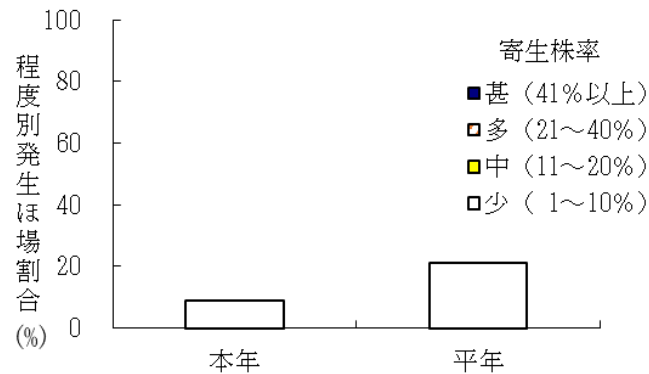


図4 アブラムシ類の発生状況

5 コナジラミ類

巡回調査における発生ほ場割合は、平年並でした（図5）。コナジラミ類（オンシツコナジラミ、タバココナジラミ）がまん延すると防除が困難なので、低密度時から防除を実施してください。なお、寄生種がタバココナジラミの場合は、着色異常果の発生やトマト黄化葉巻病（TYLCV）を媒介するので、注意してください。

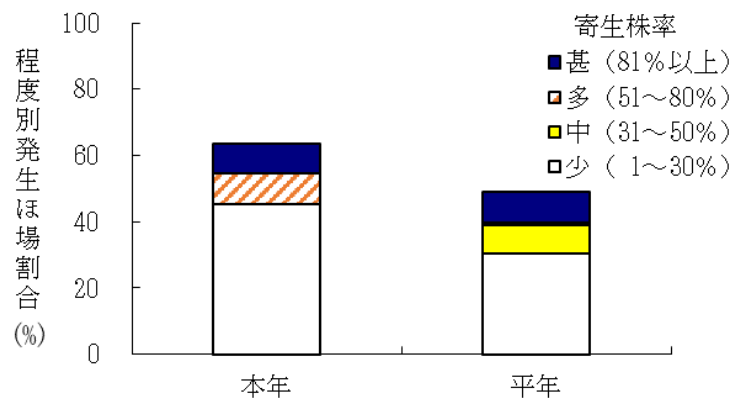


図5 コナジラミ類の発生状況

6 アザミウマ類

巡回調査における発生ほ場割合は、やや低い状況でした（図6）。防虫ネットの設置が定着していますが、ほ場をよく観察し、発生が多い場合は、速やかに防除を実施してください。また、アザミウマ類は、TSWVなどのウイルス病を媒介するので注意が必要です。

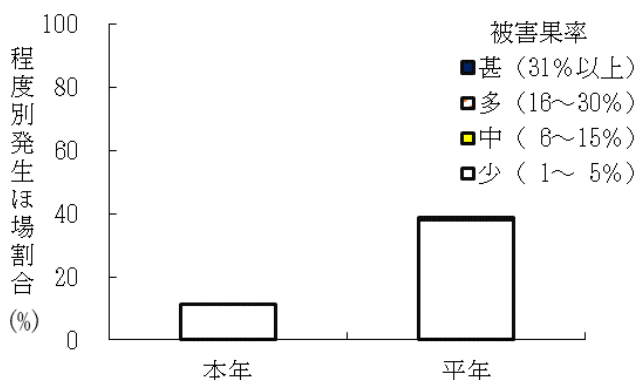


図6 アザミウマ類の発生状況



写真2 トマト果に発生した白ぶくれ

7 ハモグリバエ類

巡回調査における発生ほ場割合は、平年並でした（図7）。まん延すると防除が困難になるので、発生が見られる場合には、低密度時から防除を実施してください。寄生種がトマトハモグリバエの場合は、今後の高温で増加する可能性があるため、注意が必要です。

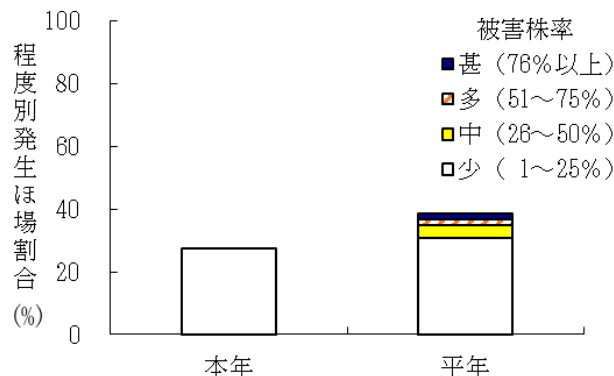


図7 ハモグリバエ類の発生状況

8 オオタバコガ

巡回調査では、果実への食害を確認しています。フェロモントラップ調査では、伊達市、猪苗代町での誘殺数が平年より多い状況でした（図8、9）。ほ場をよく観察し、発生が見られる場合には防除を実施してください。

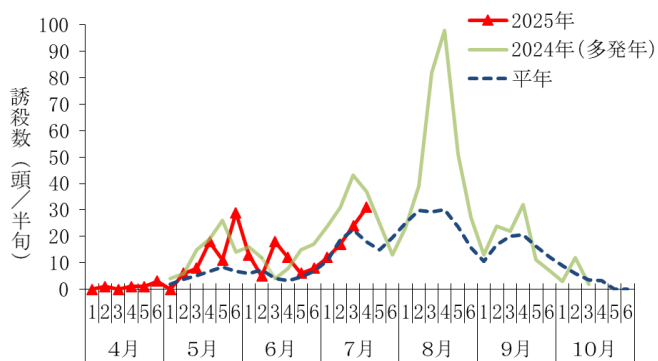


図8 フェロモントラップによるオオタバコガ誘殺数
(伊達市保原町：キク)

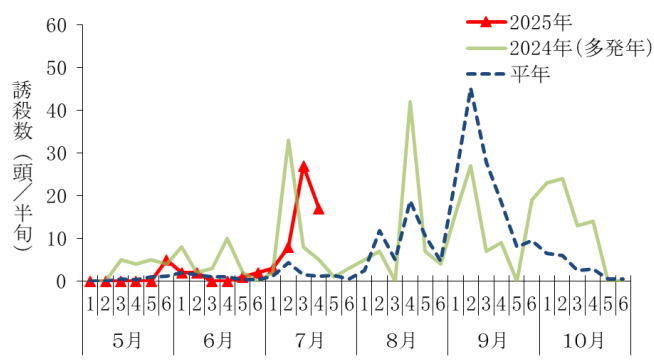


図9 フェロモントラップによるオオタバコガ誘殺数
(猪苗代町：トマト)

※2025年は4月から調査開始



写真3 果実を食害するオオタバコガ

注意が必要な病害虫

■トマト黄化葉巻病（TYLCV）

夏秋トマト、ミニトマトで、トマト黄化葉巻病の発生及び発生地域の拡大が確認されています。発生ほ場においては、コナジラミ類の防除を徹底してください。また、発病が疑われる株については速やかに抜き取り処理を行ってください。なお、今後定植するほ場では、コナジラミ類の侵入を防止するため、ハウス開口部に防虫ネット（0.4mm 目合い）を設置しましょう。

病害虫防除所ホームページでも情報を掲載しているため、下記の URL も参考にしてください。

【注意喚起～トマト黄化葉巻病（TYLCV）のまん延防止対策～】

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/uploaded/attachment/544337.pdf>

【トマト黄化葉巻病（TYLCV）対策 チラシ】

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/uploaded/attachment/648953.pdf>

【トマト黄化葉巻病（TYLCV）対策 パンフレット】

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/uploaded/attachment/648954.pdf>

■褐色輪紋病

南会津地域において、6月下旬頃から発生を確認しています。本病害は、高温多湿条件での発生が多く、草勢が低下すると病勢の進展が助長されるため、今後の発生に注意が必要です。

※ 夏秋トマトの巡回調査では、下記の 11 ほ場を調査しています。

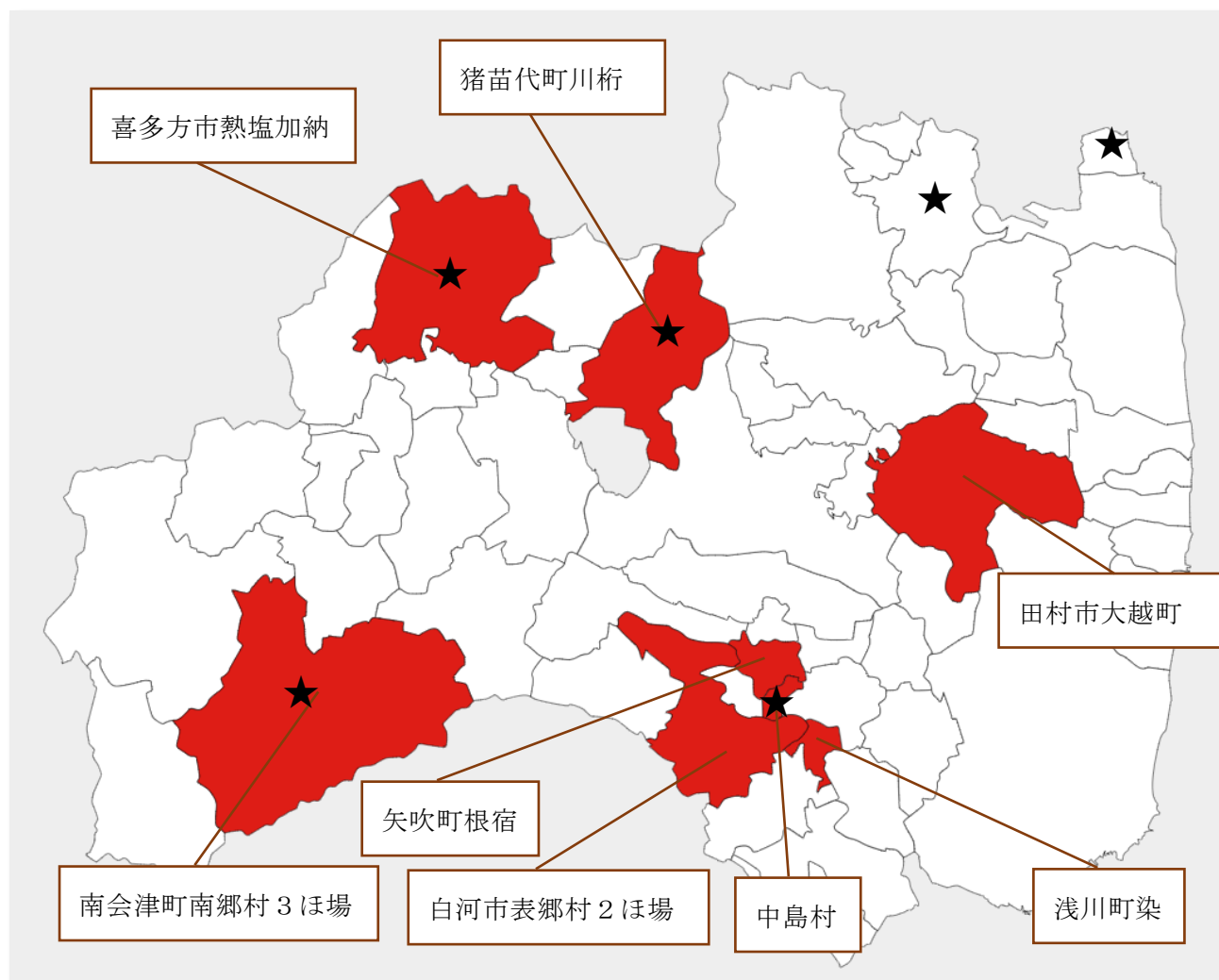


図 夏秋トマトの巡回調査地点

※網掛け：夏秋トマト巡回調査地点、8 市町村、11 地点

※★：オオタバコガのフェロモントラップ調査地点、6 地点

● 情報内容への質問や要望は、福島県病虫害防除所まで御連絡ください。

Tel:024-958-1709 Fax:024-958-1727 e-mail:yosatsu@pref.fukushima.lg.jp